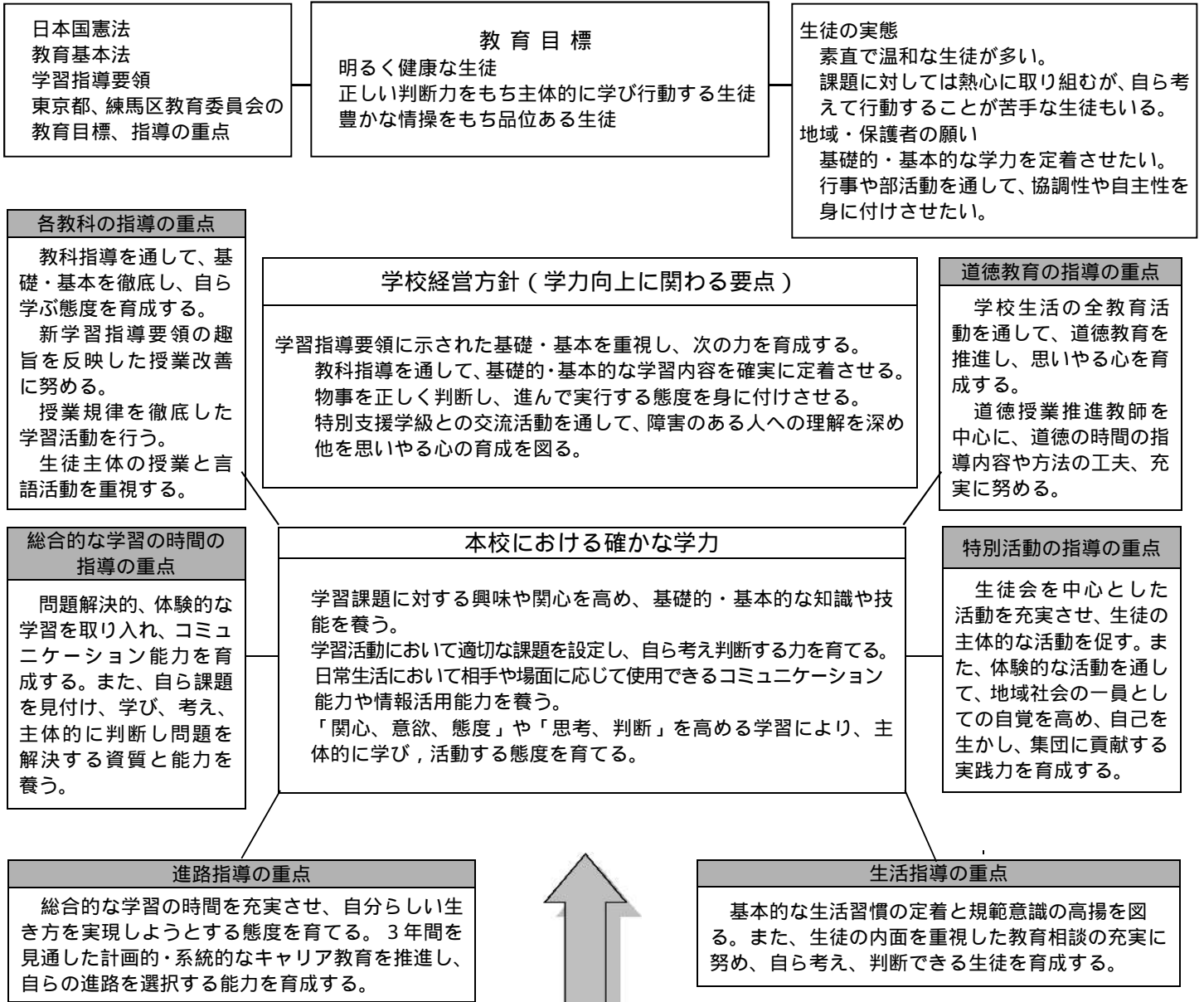


平成 30 年度

授業改善推進プラン

練馬区立石神井中学校

1 学力向上を図るための全体計画



授業改善に向けた具体的な取り組み				
わかりやすい授業づくり、考える授業づくりに取り組む。	個に応じた指導を重視し、基礎学力の定着を図る。	学校図書館の整備に努め、言語活動の充実を図る。	各教科の指導・評価計画を見直し、より適切な評価・評定を行う。	3年間を見据えた計画的・系統的な進路指導とキャリア教育を推進する。
互いに授業力を高め合う研究授業、わかりやすい授業を実現させる教材や指導法に関する校内研修を計画的に実施して、授業力の向上を図る。 7月の生徒授業評価アンケートや学力調査の結果をもとに、夏季休業終了前までに授業改善プランを作成し、9月からの授業に反映させる。 様々な研究実践事例や校内研修の成果を授業に反映させ、授業改善を図る。	区学力向上支援講師や学校生活支援員の活用を含め、個に応じたきめ細かな指導を行う。 夏季休業中、放課後、定期考査前に補充教室、質問教室等を計画的に実施する。	学校図書館の運営計画を見直し、整備して学習センターとしての利用を充実させる。 全校体制で朝の読書活動に取り組み、読書活動を推進する。	教育課程説明会や授業を通して、評価・評定について生徒・保護者への理解を深める。 より信頼度の高い評価・評定にするための検証・点検作業を学期末ごとに実施する。 適正な評価・評定のあり方について研修を行い、評価・評定に生かせるようにする。	総合的な学習の時間では、様々な分野の職人・芸術家・専門家の講演会等を実施し、広い視点から自分の進路を考え、自分らしい生き方を実現しようとする態度を育てる。 本校の実態に即した進路資料や進学資料を作成し、それらを蓄積して有効に活用する。 職業調べ、職場訪問、職場体験等の体験活動を充実させ、発表させる機会を設ける。